

みんなで紡いだ夢の舞台 満場の拍手に包まれて

日野町民ミュージカル公演「この地球ほしに生まれて～希望のたすき～」



同僚軍の兵士毛利の闘争を描く



友也(左)は謎のおじさんと出会う

ものがたり

現実から逃避しゲームの世界に没頭する現代の少年・友也は、学校帰りにホームレスのおじさんに出会う。その時、手渡されたゲームソフト「ランナー」の世界に、二人とも入り込んでしまう。

ゲームの中は戦国時代。友也は、時空を超えて走るランナーや日野川に住む河童とその仲間・三太たちに出会う。

やがて、平和な日野の郷も尼子と毛利の戦に巻き込まれていき、友也たちにも危険が迫る…。



三太から「希望のたすき」を受け継いだ友也



友也を見守る河童の親分たち



村の子どもたちは元気いっぱい

11月23日、第7回日野町民ミュージカル「この地球ほしに生まれて～希望のたすき～」が、町文化センターで上演されました。今年で7回目となる公演には、町内を中心とした大人から子どもまでの出演者29人が出演、半年間の厳しい練習の成果を発揮し、昼夜とも満席の客席から大きな拍手が送られました。また、日野中学校の生徒が特別出演して「宝仏太鼓」を披露、迫力ある演奏で舞台に花を添えました。



走の意味を探る歴史のランナーたち



コミカルな演技に客席も沸く



同野の郷で暗躍する毛利の間者



わが子三太を捜し求める毛利の間者の妻・りく



追放の同野中学校「宝伝大鼓」



同野川に住む山賊河童たち



歌や演技も成長 7回連続出演の中学生たち



運命にほころぶ三太の命を落とす三太



フイナーは歴史「おどろきの野」